

関西ぶらり散策

10月8日

3班担当

二条城は徳川家の栄枯盛衰をはじめ、日本の歴史の移り変わりを見守ってきたお城です。

東大手門（重要文化財）

東大手門で集合し、班別に今回から導入されたイヤホンガイドを使って、ガイドさんの説明を聞きながら二条城を散策しました。時期もよく修学旅行生や海外からの観光客も多かったのですが、混雑している場所もありましたが、分かりやすい説明で理解が深まりました。

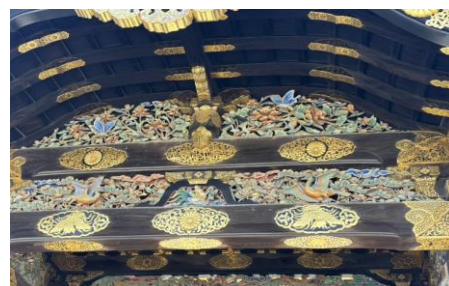
東大手門は二条城の正門で、江戸時代前期の1662年（寛文2年）に造られた。寛永3年の行幸の際には後水尾天皇もこの門から入場された。国の重要文化財に指定されている。



唐門（重要文化財）



二の丸御殿の正面にある唐門には、「松竹梅に鶴」や「唐獅子」など、豪華絢爛な極彩色の彫刻がある。



二の丸御殿（国宝）

二の丸御殿は全6棟の建物からなり、江戸初期に完成したとされる住宅様式・書院造の代表例である。今日、国内に城郭に残る御殿群として国宝に指定された。

内部は、狩野派による障壁画と、多彩な欄間彫刻や飾金具により装飾されている。



鶯張り廊下の仕組みについても説明していただきました。

二の丸庭園（特別名勝）

二の丸御殿の大広間、黒書院、行幸御殿の3方向から鑑賞できるように工夫されている。



本丸御殿（重要文化財） 本丸庭園



本丸御殿は1788年（天明8年）天明の大火で焼失した。その後再建はされなかったが、幕末に15代将軍徳川慶喜の住居として再建された。しかし、この御殿も1881年（明治14年）に取り壊された。現在の本丸御殿は、旧桂宮邸の御殿を1893年（明治26年）に本丸内に移築したもので、重要文化財の指定を受けている。

天守閣跡



天守は、1750年（寛延3年）に落雷により焼失した。天守台跡には石段で登ることができ、天守台の上からは、内堀、本丸御殿と本丸庭園を眼下に、京都市街を眺望できる。



午後から3班は、京都御所へ行きました。50分間ガイドさんの説明を聞きながら、美しい御所の中を楽しみました

